

多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化 武道推進モデル校 研究報告

剣道・少林寺拳法	山口市立宮野中学校（ 山口県 ） 電話番号 083-928-0144 メールアドレス miyano-j@ygc-yamaguchi.ed.jp
-----------------	---

●実践研究のねらい

- 武士道に由来する日本の伝統的な運動文化である武道を経験することにより、心技体を一体として鍛えるとともに、礼節を重んじる態度を養う。
- 専門的な指導力を有する地域スポーツ指導者の方から、授業計画の仕方や進め方、基本技能を学び、教員の指導力向上を図る。

●多様な武道の指導モデル 第2学年（3学級85名） 第3学年（3学級100名）

	1	2	3	4	5	6	7
種目	少林寺拳法		剣道				
学習の流れ	あいさつ、健康観察、本時のねらいの確認、準備運動						
	基本動作の学習	基本動作の学習			の学習 基本動作（ペア）	基本動作（ペア）の学習	学習のまとめ （判定試合）
	対人的技能の学習					対人的技能の学習	
	学習のまとめ（成果披露）					対人的技能の学習	
	整理運動、学習の振り返り、あいさつ						

●指導の工夫

- 少林寺拳法は、3クラス合同の活動となった。細かい動きについては指導が難しかったが、テンポの良い指導で生徒たちは楽しく活動ができていた。また、人数が多いので、声出しすることで全体の雰囲気は活発となり、終始活気のある活動となった。
- 基本技能練習時の映像を録画し、評価材料の一つとした。
- 剣道において、基本技（面・胴・こて）を音楽に合わせて練習するリズム剣道では、リラックスした雰囲気の中で生徒たちは楽しく活動できた。また、新聞切り練習に取り組むことにより、竹刀を振り切るのではなく、止めることの大切さを知るなど、一つひとつの動きのポイントを学んだ。

●授業の様子



【剣道：リズム剣道の様子】

相手を怖がらせない打ち方、安全な受け方などを学び、互いを尊重することを意識しながら、基本技（面・胴・こて）を練習した。



【少林寺拳法：攻防練習の様子】

動きの順序を覚えることに苦労していたが、何度も繰り返し練習することで、互いに息の合った動きができるようになった。

●生徒の取組み方や意識の変容、感想など

<p>1. 多様な武道（※2種目以上または、柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。</p>	<p>2. 多様な武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。</p>	<p>3. 多様な武道を学習する授業は楽しいですか。</p>
<p>■高まった ■やや高まった ■あまり高まらなかった ■高まらなかった</p>	<p>■深まった ■やや深まった ■あまり深まらなかった ■深まらなかった</p>	<p>■楽しい ■やや楽しい ■あまり楽しくない ■楽しくない</p>

【生徒の感想より】

- （少林寺拳法）武道とは戦いを止めるためにあると聞き驚きました。実演では流れるように繰り返されるきれいな技にびっくりしました。また、手をつかまれた時の対処法など護身術も学ぶことができ、自分の身は自分で守っていきたいと思いました。
- （剣道）技だけでなく心構えまで学ぶことができよかったです。たとえ相手との戦いでも、常に相手を思いやりそれを受け止める心と、いつでも油断しないように残心まですることの大切さを学びました。また挨拶では、日頃の生活を振り返ってみるとあまりできていなかったかもしれないので、今後はもっと挨拶を大切にしていきたいと思います。

●成果

- 全体の授業の進行は地域スポーツ指導者にお任せし、教員は練習の補助役として、生徒の活動をサポートした。おかげで、生徒の活動をじっくりと観察することができ、個々の変容を把握することができた。
- 挨拶への意識が変わり、会場への出入りの際、立ち止まり大きな声で挨拶をするようになった。
- 一つひとつの動きには、なぜそうする必要があるのか理由があり、その理由を理解し意識することで、所作や基本技など細かな動きの質が高まった。
- 感想の中に「礼儀」「相手のことを考える」という言葉が多くあり、地域スポーツ指導者が伝えたかった武道の精神も意識できたのではないかとと思われる。

●課題

- 初めて取り組む生徒も多く、丁寧に指導するあまり、説明が多くなりがちとなった。授業数が少ないこともあり、授業の進み具合や活動時間等が予定通りにいかない問題もあった。今後は、十分な活動時間を保証し、武道の楽しさをさらに味わうことができるようにしていきたい。できれば7～8時間は必要。
- 来年度以降、地域スポーツ指導者ではなく、教員が指導する場合にも、礼儀や所作の意味を理解させうえて授業を進めることは、技術面のみならず武道の精神を学ぶためにより効果的であり、今後の指導に生かしていきたい。
- 評価するためには、地域スポーツ指導者を含め担当教員同士で事前にルーブリックを共有しておくことが必要であった。